

**第114期**

**中 間 報 告 書**

自 2025年4月 1日  
至 2025年9月30日

**GiSEN**

**岐セン株式会社**

# 株主の皆さんへ

株主の皆さんには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2025年9月30日をもって、第114期（自：2025年4月1日 至：2025年9月30日）の上半期を終了いたしましたので、この間の概況につきご報告申し上げます。

当上半期における我が国の経済は、雇用や所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調が続いたものの、米国の政策の不確実性と地政学リスクは継続し、依然として不透明な状況が続いております。

繊維業界におきましては、消費者物価上昇による節約志向から、百貨店を中心衣料販売が低調に推移しました。生産の小ロット化や市場の成熟化、生産現場の人材不足などによる国内の高コスト化と納期対応の難しさが増し、海外生産移管の急伸など業界を取巻く環境は、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の下、当社は、「あるべき姿に向かって企業体质強化を図る基盤確立」を目標に掲げ、市況情報の的確な把握・分析・共有を徹底するとともに、得意とする商品のタイムリーな開発とサスティナビリティをキーワードにした商品の提案強化、非価格競争力を磨き受注・生産を強化してまいりました。具体的な成果と致しましては、輸出拡大に向けてRCS（リサイクル・フレーム・スタンダード）認証を取得し、更に8、9月に自社で技術総合展を実施して多くのお客様から貴重なご意見・ニーズを頂くことが出来ました。

## 【染色加工事業】

ファッションおよび人工皮革の受注は、前期より減少すると予想しましたが、実際には想定以上の減少となりました。その一方で、ナイロン素材「バゼロ」商品の受注が貢献しました。ユニフォーム関係は、企業別注及び官需品・難燃商品が堅調に推移し、中東民族衣装関係は、リピート商品は苦戦するも新規商品が好調に推移しました。

結果、当上期の当事業の売上高は1,491百万円と前年同期比97百万円（7.0%）の増収となりました。

## 【テキスタイル販売事業】

新規開発商品を強化するも国内外共に受注が低迷し、売上高154百万円と前年同期比14百万円（▲8.6%）の減収となりました。

## 【木材染色事業】

搭載車種の終息に伴い受注が減少し、売上高42百万円と前年同期比12百万円（▲23.3%）の大幅減収となりました。

## 【ステープル事業】

一定受注で安定生産でき、売上高39百万円と前年同期比1百万円（2.6%）の増収となりました。

以上の結果、当中間期の全売上高は、1,748百万円と前年同期比71百万円（4.2%）の増収となりました。

利益面では、ファッショング・人工皮革の受注減による平均単価の下落に加え、修繕費や燃料費、熱中症対策費用の増加、更にテキスタイル販売と木材染色の減収が減益要因となりました。一方で国のエネルギー補助金による費用減少に加え、全社的に省エネ・工程改善の推進、加工料金の適正化が進んだことで、一定の利益を確保いたしました。

結果、営業利益は16百万円（前年同期11百万円の減益）、経常利益は14百万円（前年同期8百万円の減益）、最終当期中間純利益は14百万円（前年同期27百万円の減益）の増収減益となりました。

なお、誠に遺憾ながら中間配当につきましては、引き続き企業体質強化のため内部留保の充実を優先し、引き続き無配とさせていただきます。株主の皆さんにはご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 通期の概況

当下半期のわが国の経済は、経済活動は緩やかな回復傾向は維持すると予想されますが、米国の政策不確実性や地政学的リスク、エネルギー価格の高止まり、物価上昇による消費活動の減速懸念など、先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

このような経済環境下で、当社は、黒字化体質を図る基礎確立を目標に掲げ、あるべき姿に向かって市況情報を的確に把握して商品開発に結び付てまいります。特に、新規開発したシワ加工商品（ルフレス、モデラ）、サステナブル商品（バゼロ、バゼッシュ）の提案強化し受注拡大に努めてまいります。

また、年間休日120日の実現に向けて、主力の染色加工事業の生産性向上を推進し、不採算品の縮小・撤退を視野に入れた価格交渉を進めるとともに、コスト上昇分の価格転嫁を強化致します。全社的な3S・省エネプロジェクトを継続強化し、費用削減と利益創出を進め、通期での黒字確保を目指してまいります。

木材染色関係は車両部材の新規開発に注力し売上・利益の確保と収益基盤の強化を図ります。

ステープル関係は安定生産を継続し、引き続き収益基盤の確立を図ります。

株主の皆さんにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2025年12月

代表取締役社長　後藤　勝則

# 中間貸借対照表

(2025年9月30日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	<b>1,518,784</b>	<b>流動負債</b>	<b>945,804</b>
現金及び預金	602,162	支 払 手 形	15,238
受取手形	68,263	電子記録債務	138,946
売掛金	326,773	買掛金	142,109
たな卸資産	492,918	1年内返済予定の長期借入金	290,544
その他の	28,872	リース債務	35,377
貸倒引当金	△ 206	未 払 金	164,185
		未払法人税等	481
<b>固定資産</b>	<b>2,360,080</b>	<b>賞与引当金</b>	<b>63,776</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,244,409</b>	設備関係支払手形	12,689
建 物	460,566	そ の 他	82,455
機械及び装置	139,938		
土 地	1,425,596	<b>固定負債</b>	<b>1,666,853</b>
リース資産	117,472	長期借入金	723,369
そ の 他	100,836	リース債務	98,763
		繰延税金負債	21,722
<b>無形固定資産</b>	<b>4,037</b>	再評価に係る繰延税金負債	383,721
		退職給付引当金	406,462
<b>投資その他の資産</b>	<b>111,633</b>	役員退職慰労引当金	31,407
投資有価証券	106,228	そ の 他	1,406
そ の 他	5,404	<b>負債合計</b>	<b>2,612,657</b>
		(純資産の部)	
		<b>株主資本</b>	<b>528,622</b>
		資 本 金	100,000
		資 本 剰 余 金	341,000
		資 本 準 備 金	88,200
		そ の 他 資 本 剰 余 金	252,800
		利 益 剰 余 金	92,367
		そ の 他 利 益 剰 余 金	92,367
		固定資産圧縮積立金	34,117
		繰越利益剰余金	58,249
		自 己 株 式	△ 4,744
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>737,584</b>
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	6,807
		土地再評価差額金	730,776
		<b>純資産合計</b>	<b>1,266,207</b>
<b>資 产 合 计</b>	<b>3,878,865</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>3,878,865</b>

# 中間損益計算書

(自 2025年4月1日  
至 2025年9月30日)

(単位:千円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,748,372
売 上 原 価		1,568,243
売 上 総 利 益		180,128
販売費及び一般管理費		163,139
營 業 利 益		16,988
營 業 外 収 益		
受取利息及び受取配当金		1,629
受 取 保 証 料		1,820
そ の 他		2,955
營 業 外 費 用		6,405
支 払 利 息		7,305
そ の 他		1,957
經 常 利 益		9,263
特 別 利 益		14,130
固 定 資 産 売 却 益		149
税 引 前 中 間 純 利 益		14,280
法人税、住民税及び事業税		543
法 人 税 等 調 整 額		△ 1,098
中 間 純 利 益		△ 554
		14,835

# 中間株主資本等変動計算書

( 自 2025年4月1日  
至 2025年9月30日 )

(単位:千円)

項目	株主資本			
	資本金	資本準備金	その他資本剩余额	資本剩余额合計
当期首残高	100,000	88,200	252,800	341,000
当中間期変動額				
中間純利益				
自己株式の取得				
圧縮積立金の取崩				
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	—	—	—	—
当中間期末残高	100,000	88,200	252,800	341,000

項目	株主資本				
	利益剩余额		自己株式	株主資本合計	
	その他利益剩余额	固定資産 圧縮積立金			
当期首残高	36,209	41,322	77,531	△ 4,678	513,853
当中間期変動額					
中間純利益		14,835	14,835		14,835
自己株式の取得				△ 65	△ 65
圧縮積立金の取崩	△ 2,091	2,091	—		—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	△ 2,091	16,927	14,835	△ 65	14,769
当中間期末残高	34,117	58,249	92,367	△ 4,744	528,622

項目	評価・換算差額等				純資産合計
	その他の有価証券 評価差額金	土地 再評価 差額	地 評価 額 金	評価・換算 差額等 合	
当期首残高	5,874	730,776	736,651		1,250,505
当中間期変動額					
中間純利益					14,835
自己株式の取得					△ 65
圧縮積立金の取崩					—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	932	—	932		932
当中間期変動額合計	932	—	932		15,702
当中間期末残高	6,807	730,776	737,584		1,266,207

## 役 員 (2025年9月30日現在)

代表取締役社長	後藤 勝則
常務取締役	後藤 康之(業務全般統括)
取締役(非常勤)	西村 友伸(東レ株) テキスタイル事業部門長
監査役	鈴木 康裕
監査役(非常勤)	高山 裕幸(東レ株) 繊維事業管理室長

(注)本中間報告書中の記載金額および株式数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。  
また、割合は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
単元株制度	1単元の株式の数は1,000株
公告掲載新聞	中部経済新聞

### (お知らせ)

株式関係のお手続き用紙のご請求は、三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部テレホンセンターでも承っております。

(受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)

電話(通話料無料) 0120-232-711(東京)

0120-094-777(大阪)

上記電話番号がご利用できない場合

(通話料有料) 042-204-0303

インターネットホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

# GiSEN

岐セン株式会社

岐阜県瑞穂市牛牧758番地  
TEL 058-326-8123

当社ウェブサイト  
<https://www.gisen.co.jp/>

